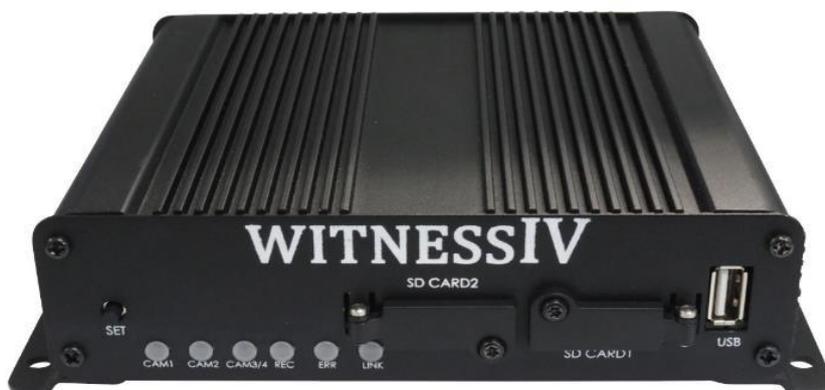


通信型 4カメラ・2スロット ドライブレコーダー
〈ウィットネス・フォー〉

WITNESS IV

取付・取扱説明書



目次

| | ページ |
|-------------------------------------|-------|
| ◆ 安全にお使いいただくために（警告事項・注意事項・ご使用上の注意） | 1～2 |
| ◆ 構成部品・ご使用にあたっての注意事項 | 3～4 |
| 機器を取り付ける | |
| ◆ 取り付け前の注意事項、機器各部名称 | 5 |
| ◆ ① 取り付け（設置）場所を決める | 6～7 |
| ◆ ② 取り付け準備をする | 8 |
| ◆ ③ 配線・接続・取り付ける（配線図） | 9 |
| ◆ 車速パルスが取得できていない場合 | 10～12 |
| ◆ 本体の取り付け | 13～16 |
| ◆ カメラの取り付け・角度調整 | 16～18 |
| ◆ ④ 専用SDカードを挿入する（挿入・取り出し方法） | 19～20 |
| ◆ ビープ音・音声ガイダンス | 21 |
| ◆ SDカードが間違っている場合のビープ音・音声ガイダンス／LED一覧 | 22 |
| ◆ ⑤ 本体設置位置の校正（手動校正）をする | 23 |
| 本体を起動する | |
| ◆ 本体の起動・終了（本体） | 24 |
| ◆ 本体の起動（インジケータユニット） | 25 |
| ◆ 映像ファイルの記録内容・録画時間 | 26～27 |
| ◆ 製品仕様 | 28～29 |
| ◆ アフターサービス・製品保証書 | 30～31 |

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この取扱説明書における警告事項・注意事項・ご使用上の注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ◎ **警告事項** ◎ この警告を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
- ◎ **注意事項** ◎ この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物の損害の可能性がある内容を示しています。

◎ 警告事項 ◎

- * 本製品はDC12V、24V車専用です。DC12V車24V車以外で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。
- * ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（5A32V）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると発煙・発火、故障の原因となります。
- * 本製品を前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキなどの運転操作を妨げる場所、および同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。事故や怪我の原因となります。
- * エアバック装着車に取り付ける場合は、エアバックシステムの作動に影響する位置への取り付けは絶対にお止めください。エアバックが正常に動作しない恐れがあります。
- * 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接続することがないように注意してください。パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。
- * 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないようにしっかり締めてください。事故や故障の原因となります。
- * 正規の接続を守って取り付けを行ってください。取り付けする前に、配線コードの定義や内容をよく理解してから取り付けを行ってください。誤った接続をすると、事故や火災の原因となります。
- * 本製品は、取付・取扱説明書に従って正しく取り付け・取り扱いを行ってください。誤った取り付けは道路運送車両法違反となります。事故やけがの原因となります。
運転中に本体やインジケータユニットのLEDなどを注視したり、本製品を操作しないでください。
- * コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。配線は高熱部を避けて行ってください。コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- * 本製品を分解・修理、及び改造はしないでください。電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは、絶対にしないでください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災や感電、故障の原因となります。
- * コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープでしっかり固定してください。コード類が車体部分と接触することにより、擦り切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
本製品を操作しないでください。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- * 本製品の動作確認のために急発進や急ブレーキ・急ハンドルなどの危険な運転はやめてください。それによって生じた損害について弊社は一切責任を負いません。

◎ 注意事項 ◎

- * 本製品に強い力や衝撃を与えたり、落としたり、上に重いものを載せたりしないでください。火災、故障の恐れがあります。
- * 必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部部品の損傷や本製品が固定されず落下する危険性があります。火災や事故の原因となります。
- * 本製品の取り付け・配線・移設作業は、安全の為に必ず専門の知識と経験を持った人が行うようにしてください。取り付ける車両に応じて、配線箇所などは車両ディーラーに必ずご確認ください。事故や火災、感電や故障の原因となります。
- * 両面テープで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れや油分・水滴などをきれいに拭き取ってください。拭き取りが不十分な場合、走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり、交通事故や怪我の原因となります。
- * 本体は、直射日光が当たるところには取り付けしないでください。本体が高温になり、火傷をする可能性があります。

- * 雨が吹き込むところなど水のかかる所や、湿気、ほこり、油煙の多いところへ取り付けないでください。
本製品に水や結露(エアコンホース周囲など)ほこり、油煙が混入しますと発煙・発火、故障の原因となることがあります。
- * 本体・カメラやインジケータユニットなどは、定期的に点検してください。取り付けネジの緩みや貼り付けした部分が剥がれていないことを確認してください。取り付けネジの緩みがある場合は、締め直してください。
走行時の振動で、本体が外れて視界や運転の妨げとなり、事故や怪我の原因となることがあります。
- * 本製品(本体、コードなど)を水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類や磨き砂などが配合された洗剤などで拭かないでください。変形や変質、破損、キズの原因となります。

◎ ご使用上の注意 ◎

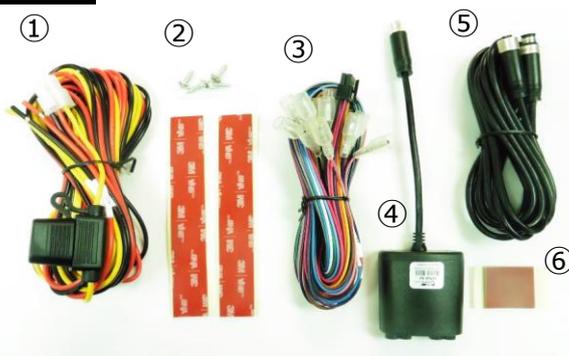
- * 弊社の製品は、車載用ドライブレコーダーで、長時間連続稼働する防犯カメラ仕様にはなっておりません。
必ず、電源のON/OFFを24時間以内に行ってください。
- * 本体のUSBコネクタ(差込口)は、本体と連動するオプション機器専用のものとなります。
スマートフォンの充電等、オプション機器以外の機器を接続、使用されると、
本体の録画機能が正常に動作しなくなる恐れがあるため、オプション機器以外は接続しないでください。
- * GPS電波は地理的な要因や車両ガラスなどにより、受信しにくい場合や受信できない場合があります。
- * 走行中にはずれたり、落下することのないように、しっかりと取り付け、定期的に取り付部分の点検を行ってください。
- * 直射日光が当たった場合などは、本体の金属部分が高温になりますので触らないでください。
- * LED式信号機が点滅で撮影される場合や状況によって信号の色が識別できない場合があります。
それによって生じた損害について 弊社は一切責任を負いません。
- * メモリーカードは消耗品です。
ご使用環境によりますが、1年毎(推奨)に定期的買い替えをしてご使用ください。
- * SDカードにドライブレコーダーで記録されているデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されていないことがあります。
- * カメラのレンズ部分が汚れている場合、記録した映像が見つらなくなることがありますので、定期的を確認し、
水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると、キズの原因となります。
鮮明な映像が記録されるように、少なくとも月に一度はカメラレンズ表面を清掃してください。
- * 本製品は、危険運転時の状況を記録することを目的としています。イタズラその他の目的には使用しないでください。
- * 本製品は、常時録画・録音で映像と音声を記録する装置ですが、すべての状況において映像と音声を記録することを保証するものではありません。
- * 本製品は、事故・防犯などの検証に役立つことを目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- * 何らかの要因で映像や音声が記録されなかった場合、または記録された映像や音声データが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切責任をおいませぬ。
- * 使用中の事故などの損傷による製品の変形、データの紛失、この製品の使用中による他の損傷は、製造会社としての責任は負いかねます。
- * 本製品で記録した映像や音声データは、その使用目的や使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますので、ご注意ください。個人情報保護法に基づいて、取得された映像・音声データは第三者に漏洩することがないようにしてください。
- * 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- * 紛失等による付属品の追加購入や別売品のご購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
- * 本製品等の仕様および外観は、改良・改善等のため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- * 機器、ビューワソフト(映像再生ソフト)すべての著作権は、株式会社ドライブ・カメラに帰属します。

構成部品

◆本体（インジケータユニット含む）



WITNESSIV本体



- ①本体用電源ケーブル
- ②本体用両面テープ（2枚）・本体固定用ネジ（4本）
- ③車速／各種信号ケーブル（I/O1）
- ④インジケータユニット（GPS・マイク内蔵）
- ⑤インジケータ用ケーブル
- ⑥インジケータユニット用両面テープ

◆非防水カメラ-IRなし



カメラ付属品…カメラ用両面テープ×1枚

◆非防水カメラ-IRあり（赤外線機能付き）

※オプション品



◆防水カメラ-IRなし

※オプション品



◆防水カメラ-IRあり（赤外線機能付き）

※オプション品



カメラ付属品…カメラ用両面テープ×2枚 ※1枚は予備となります。

構成部品

◆カメラ用ケーブル

1.5m、3.5m、5m、10m（カメラケーブル脱着式）

※ケーブル同士の接続（ジョイント）可能。

※カメラ用ケーブルの延長は、各ケーブル組み合わせで、最大3本まで。（10m×3本＝最大30m）



◆専用SDカード 32GB・64GB・128GB・256GB

SDカード1スロット用

SDカード2スロット用



※専用SDカード以外は、**WITNESSIV**でご利用になれません。

※シールの仕様が変更になる場合がございます。

◆専用USBキー

※オプション品

※専用ビューソフト（映像再生ソフト）の使用に必要となります。

◆専用Wi-Fi dongle

※WITNESSIVでWi-Fi通信を行う場合は、専用Wi-Fi dongleが必要となります。

◆本体特殊ネジ専用ドライバー

※別途購入／オプション品

◆専用ビューソフトCD

専用ビューソフト（映像再生ソフト）となります。

専用SDカードのご使用にあたって

※メモリーカードは消耗品です。

ご使用環境によりませんが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。

※専用SDカードをご使用の際は、同一本体でのご使用をおすすめします。

※必ず、SDHC・SDXC規格が読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品WITNESSIVは特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューソフトで、SD専用フォーマットを行なってください。

※SD専用フォーマットを行なると、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューソフトのSD専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードのSD専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ必ず保存（バックアップ）してください。

取り付け前の注意事項 安全のため、必ず以下の内容を確認してから取り付けください。

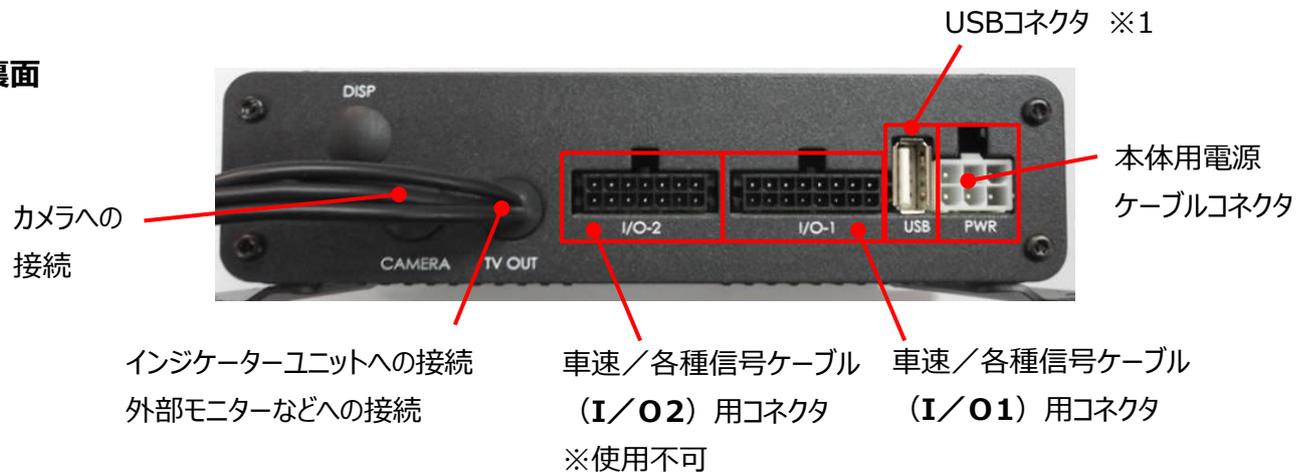
- ※水平な場所に止めてください。必ずエンジンを切り、エンジンキーを抜いた状態で取り付け（設置）をしてください。
- ※取り付けは、安全、かつ手元がよく見える、明るい場所で行ってください。
- ※電源電圧がDC12V、もしくはDC24Vのアース専用であることを確認してください。
それ以外の車には取り付けできません。
- ※水平な場所に車体を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、
本体設置位置の校正が正しく行われません。
- ※必ず付属の電源ケーブルを使用してください。
- ※使用しないケーブルは絶縁処理をしてください。

本体各部名称

表面



裏面



※1 本体のUSBコネクタ（差込口）は、本体と連動するオプション機器専用のものとなります。スマートフォンの充電等、オプション機器以外の機器を接続、使用されますと、本体の録画機能が正常に動作しなくなる恐れがあるため、オプション機器以外は接続しないでください。

カメラ・インジケータユニット各部名称



下記の手順で、機器を取り付けてください。

- ①取り付け（設置）場所を決める→②取り付け準備をする→
 ③配線・接続・取り付ける（配線図）→④専用SDカードを挿入する→
 ⑤本体設置位置の校正（手動校正）をする

① 取り付け（設置）場所を決める

本体、インジケータユニット、カメラの設置場所を決め、スペースを空けてください。

NG 本機を次のような場所に取り付けしないでください。

- ◆エアコンやヒーターに近い場所。
- ◆配線の噛み込みみや被覆の摩擦などにより、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ◆車両の電装機器（アンテナ等含む）に近い場所。

OK 以下のような場所に設置してください。

- ◆フロントガラス上部から**全体の20%以内の範囲**、または**フロントガラス下部から150mm以内の範囲**。
- ◆運転の妨げ、ブレーキ・ハンドル等運転操作の妨げ、エアバック動作の妨げにならない場所。

本体

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。 ◆専用SDカードの挿入・取り出しができる場所。
 - ◆スピーカー部分をふさがない場所。（本体上部）
 - ◆(Wi-Fi通信を行う場合) Wi-Fi受信が良好な場所。
- ※本体は、LEDランプ表示が確認できる場所への取り付けでなくても問題はありません。
 本体の動作（LED表示）は、インジケータユニットでご確認いただけます。

インジケータユニット

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
 - ◆LEDランプ表示を、運転者（ドライバー）が確認できる場所。
 - ◆音声が集音できる場所。 ◆GPS受信が良好な場所。
- ※インジケータユニットと他車載器のアンテナ類とは、50cm以上離して、お取り付けください。

カメラ

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。 ◆運転中、視界の妨げにならない場所。
 - ◆カメラのレンズが、ワイパーの拭き取り範囲内にあり、カメラの視野が妨げられない場所。
- ※ドライブレコーダーの取り付けによって、テレビ・ラジオの受信・他車載器に影響がでる場合がありますので、今までと同様の受信を保証するものではありません。
- ※カメラと他車載器のアンテナ類とは、50cm以上離して、お取り付けください。
 ※カメラの配線ケーブルを、他車載器のアンテナ類とは、反対側から回してお取り付けください。
 ※両面テープでの取付で不安定な場合は、タッピングビスで固定してください。

ドライブレコーダー・車内外カメラの取り付け位置について

ドライブレコーダー（及び車内外カメラ）の貼り付け位置に関しては、道路運送車両の保安基準（第29条）の道路運送車両法細目告示（第39条・第117条・第195条）にて、以下のように定められています。

対象機器取付の際には、所定の位置をご確認のうえ、基準値内に収まる範囲へ取り付けを行ってください。

1. 乗用に供する乗車定員9人以下の自動車

前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部（※）の実長の20%以内**の範囲
又は、前面ガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部から150mm以内**の範囲
その他、細目告示にて定める範囲

2. 貨物の運送用に供する車両総重量3.5 t 以下の自動車

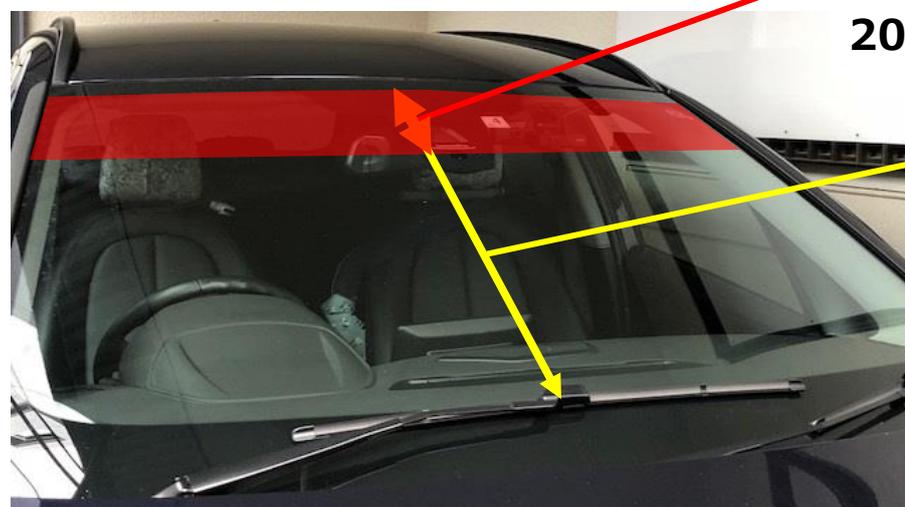
前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部（※）の実長の20%以内**の範囲
又は、前面ガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部から150mm以内**の範囲
その他、細目告示にて定める範囲

3. 上記1.2以外の自動車

前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部（※）の実長の20%以内**の範囲
又は、前面ガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部から150mm以内**の範囲
その他、細目告示にて定める範囲

※ガラス開口部 図解

乗用車以外トラック・バスについても同様。



実長の上部から
20%以内の範囲

車両中心面の
ガラス開口部の実長

② 取り付け準備をする

本体の裏面（2か所）、インジケータユニットの裏面、カメラステイの裏面に両面テープが浮かないように、しっかりと貼ってください。

※機器・ステイの裏面、取り付け場所（フロントガラスなど）の汚れや油分、埃、水滴などをきれいに拭き取ってください。特に、水滴は両面テープの性能を劣化させますのでご注意ください。

※両面テープは一度取り付けると、粘着力が弱くなりますので、再度貼り付けできません。貼り付けの際、ご注意ください。

※両面テープは、消耗品です。粘着力が弱まった場合、別途ご購入ください。



※両面テープの仕様が変更になる場合がございます。

③ 配線・接続・取り付ける

配線図に従い、本体用電源ケーブル、
車速／各種信号ケーブルを接続してください。

※未使用のケーブルの終端は、絶縁処理をしてください。

※必ず車のエンジンを切って、車のキーを抜いた状態で設置してください。

※必ず、付属の電源ケーブルを使用してください。

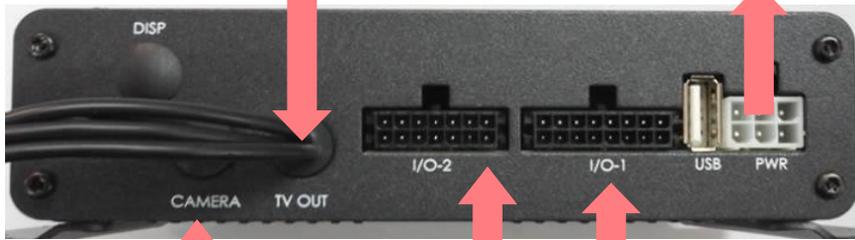


インジケータユニットへの接続
外部モニターなどへの接続

本体用電源ケーブル

| 色 | 内訳 | タグ |
|---|-------|--------|
| 黄 | 常時電源 | B+ |
| 黒 | アース | GNDPWR |
| 赤 | アクセサリ | ACC |

ACCの配線は車両の
イグニッションに
接続しないでください。



車速/各種信号ケーブル I/O1

| | | |
|------|------------------|---------|
| 水色 | 左ウインカー | LEFT |
| グレー | ブレーキ信号 | BRAKE |
| 黄 | タクシメーター | TAXI |
| 濃ピンク | 外部トリガーボタン | TRIGGER |
| 黒 | GND | GND |
| 薄水色 | 運行情報 | DRIVER |
| 緑 | 右ウインカー | RIGHT |
| オレンジ | バック信号 | BACK |
| 白 | パルス | PULSE |
| 紫 | AUX1 | AUX1 |
| 紫 | AUX2 | AUX2 |
| 薄ピンク | ANALOG | ANALOG |
| 薄ピンク | FUELanalogガソリン残量 | FUEL |
| 茶 | OPTエンジン回転数 | R.P.M |
| 濃ピンク | TV-OUT切替ボタン | TV |

カメラへの接続 (最大4台接続可能)



カメラ1台目は、タグ1に接続。
カメラ2台目は、タグ2に接続。
カメラ3台目は、タグ3に接続。
カメラ4台目は、タグ4に接続。

車速/各種信号ケーブル I/O2

※使用不可

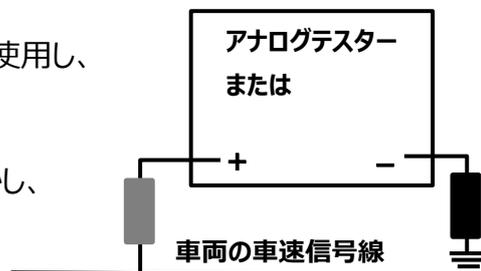
車速パルスが取得できていない場合

※無電圧車速パルス車・フローティングパルス車をご確認後、ご使用ください。

取り付けが完了し、走行後、専用ビューソフトで映像再生をした際、
車速パルスが取得できていない場合、下記の手順で車速パルスをご確認ください。

1 アナログテスター（またはデジタルテスター）を使用し、
車両の車速信号線とアース間の電圧を計測します。

2 イグニッションONの状態、車両をゆっくり動かし、
アナログテスターの針が動くか、またはデジタルテスターの数値を確認してください。



| | |
|---|---------------------------------|
| アナログ テスターの針が 動かない (無電圧) | デジタル テスターの針が 変化しない |
|---|---------------------------------|

車両が
無電圧車速パルス車です。
本製品接続時、別のオプション品
プルアップハーネスが
必要となります。



| | |
|---|--------------------------------|
| 24V車のみ、ご確認ください。 | |
| アナログ テスターの針が 動く（有電圧 下限値5V以下） | デジタル テスターの針が 5V以下 |

車両が
フローティングパルス車です。
本製品接続時、別のオプション品
パルスレベルシフターが
必要となります。



※無電圧車速パルス車でない車両にプルアップハーネスを取り付けると、メーターが破損する
可能性がございますのでご注意ください。

※車速信号オプションパーツを使用することにより車速信号の取得を保証するものではありません。
WITNESSIV取扱説明書記載の作業方法で車速パルスが取得できない場合は、
車両メーカーにお問い合わせください。

※車両の型式／年式が同一でも、車速パルスの取得条件が同一でないことがあります。

※車両の仕様・装備、個体差などにより、車両パルスの取得方法が異なる場合があります。

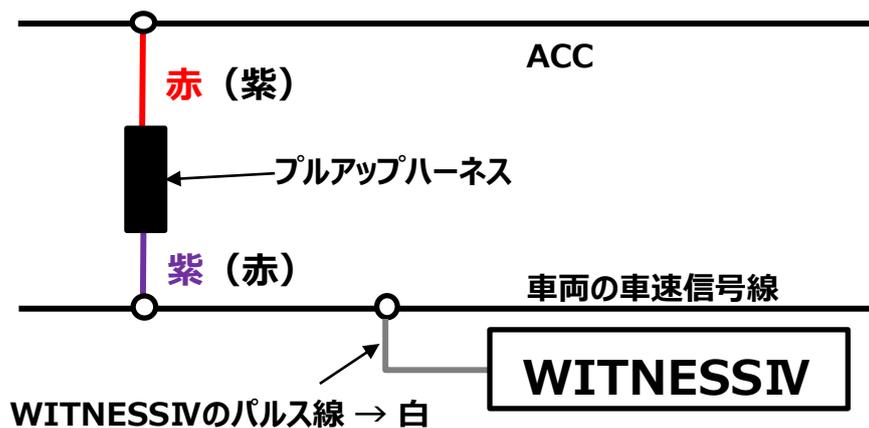
◆車種によっては、車速パルスが出力されていない車両がございます。その場合は、
各自動車メーカーにお問い合わせください。

プルアップハーネス接続方法

- ※一部の車両では、車速パルスに無電圧車速パルスが採用されているため、アナログテスターなどで電圧の計測ができないものがあります。
- ※無電圧車速パルス車に、プルアップハーネスを正しく接続することで、有電圧パルス車として、WITNESSIV製品に対応させることができます。
- ※無電圧車速パルス車の一部では、他の搭載された車載機の機能により有電圧パルスを取得できる場合があります。

接続方法

下図のように、プルアップハーネスをACCと車両の車速信号線の間配線してください。プルアップハーネスには、入力側・出力側の向きはありません。

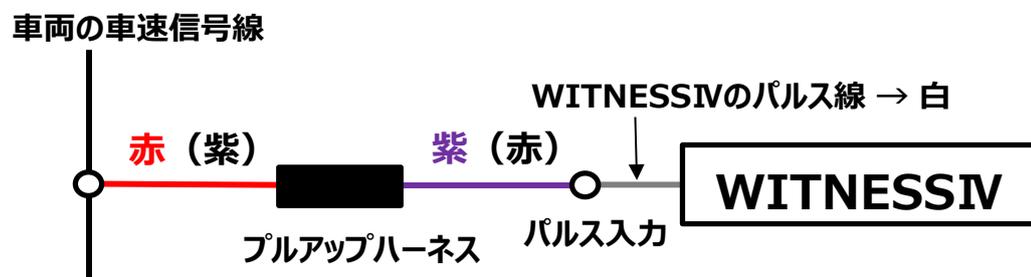


プルアップハーネス接続方法(ノイズ低減対応)

停車状態（ウインカーの操作時など）で車速が出てしまう、走行中に車速が不安定になる（突然、急加速・急減速になる）などの際、下記の接続方法をお試しください。

接続方法

下図のように、プルアップハーネスをWITNESSIVと車両の車速信号線の間配線してください。プルアップハーネスには、入力側・出力側の向きはありません。



- ※WITNESSIVのパルス線を接続する際は、はんだ付けでの結線をおすすめいたします。ギボシ端子等を使用して結線する場合は、パルス線がはずれないよう確実に圧着の作業を行ってください。作業完了後はパルス線がはずれないことを確認してください。

注意事項

- ※配線を行う際は、車両側の電源を切るなどの対策をとり、ショートしないようご注意ください。
- ※誤った配線は搭載機器を破損される可能性がありますので、車速信号配線をよく確かめて行ってください。
- ※配線に無理な加えると破損の恐れがありますので、取扱にご注意ください。

パルスレベルシフター接続方法**24V車のみ**

- ※一部の車両では、車両の車速信号線が有電圧パルスであるにもかかわらず、WITNESSIV製品で車速パルスを正常に認識できないことがあります。
- ※車速パルスが不安定な場合や、ウインカー操作時に車速パルスが出てしまう、停車状態でも車速パルスが出てしまうなどのトラブルの際にお試してください。

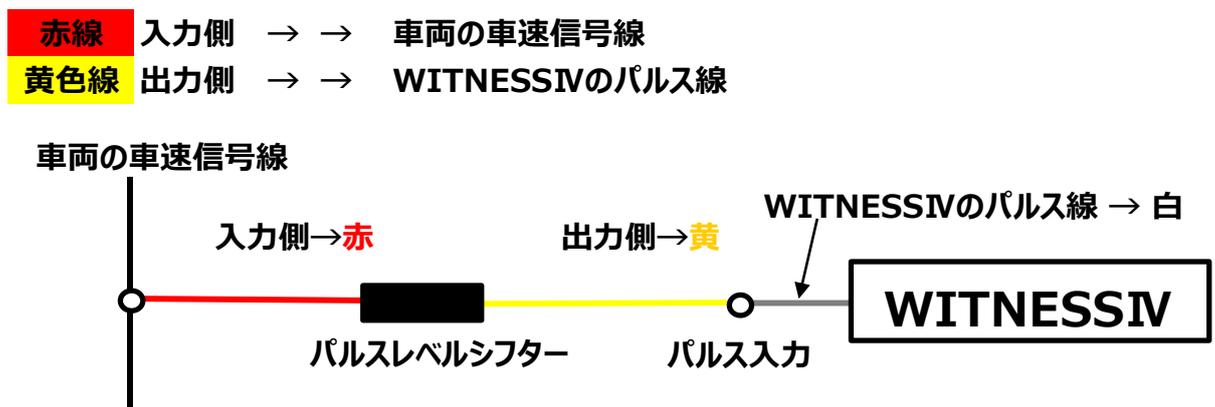
接続方法

下図のように、パルスレベルシフターをWITNESSIV製品、車両の車速信号線の間に配線してください。

パルスレベルシフターには、入力側・出力側の向きがあります。

接続時に、配線方向を間違えないようご注意ください。

パルスレベルシフターの赤線は車両の車速信号線、黄色線はWITNESSIV製品に接続するパルス線に接続してください。



車速パルスの下限値が5Vを超える場合は、パルスレベルシフターが使用できません。あらかじめ、アナログテスターなどで下限値が5V以下であることをご確認ください。

- ※WITNESSIVのパルス線を接続する際は、はんだ付けでの結線をおすすめいたします。ギボシ端子等を使用して結線する場合は、パルス線がはずれないよう確実に圧着の作業を行ってください。作業完了後はパルス線がはずれないことを確認してください。

注意事項

- ※配線を行う際は、車両側の電源を切るなどの対策をとり、ショートしないようご注意ください。
- ※配線方向を間違えると、パルスレベルシフターが機能しません。入力側・出力側の向きを間違えないようご注意ください。
- ※配線に無理な加えると破損の恐れがありますので、取扱にご確認ください。

車を水平な場所に止めてください。

必ず、車のエンジンを切って、エンジンキーを抜いた状態で設置(取り付け)してください。

※水平な場所に止めてください。必ずエンジンを切り、エンジンキーを抜いた状態で取り付け（設置）を行ってください。

※取り付けは、安全、かつ手元がよく見える、明るい場所で行ってください。

※電源電圧がDC12V、もしくはDC24Vのアース専用であることを確認してください。

それ以外の車には取り付けできません。

※水平な場所に車体を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、

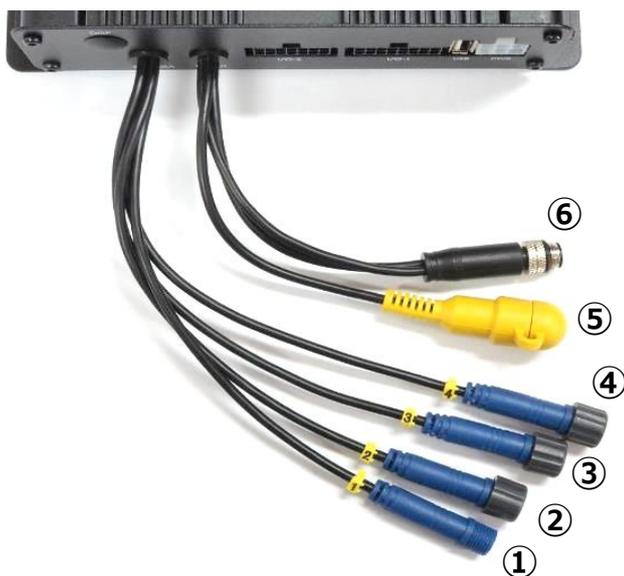
本体設置位置の校正が正しく行われません。

※必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

※使用しないケーブルは絶縁処理をしてください。

※両面テープは、消耗品です。粘着力が弱まった場合、別途ご購入ください。

本体の取り付け



①②③④ カメラ用ケーブル⇔カメラへの接続

① タグ1…カメラ1台目を接続

② タグ2…カメラ2台目を接続

③ タグ3…カメラ3台目を接続

④ タグ4…カメラ4台目を接続

※未使用時、キャップは外さないでください。

⑤ 外部モニターなどへの接続

※ビデオケーブル（RCA）はご用意ください。

※未使用時、キャップは外さないでください。

⑥ インジケータ用ケーブル・インジケータ

ユニットへの接続（以下、インジケータと表記）

車速/各種信号ケーブルの接続について

車速/各種信号ケーブルは、コネクタ（I/O）に、**奥までしっかりと差し込んで接続してください。**

接続後、きちんと接続できている（固定されている）か確認してください。

※きちんとケーブルが接続されていないと、ケーブルが抜けてしまい、WITNESSIVの機能が、正常に動作されません。

○ ケーブルとコネクタの間に
隙間がありません。

✗ ケーブルとコネクタの間に
隙間があります。



本体①②③④ ⇔ カメラ用ケーブル ⇔ カメラへの接続方法

1. 本体①②③④と、カメラ用ケーブルのコネクタの矢印を合わせて、水平に差し込む。
 ※カメラ用ケーブルは、すべてのカメラ共通。



OK コネクタ間に隙間がない状態



NG コネクタ間に隙間がある状態

隙間がある状態で、コネクタカバーを回しても、隙間は埋まらず、正常に接続ができませんのでご注意ください。

※接続時、パッキン（黒のオーリング）が外れないよう
 ご注意ください。



※未使用時、キャップは外さないでください。

本体① タグ1…カメラ1台目を接続



本体② タグ2…カメラ2台目を接続

本体③ タグ3…カメラ3台目を接続

本体④ タグ4…カメラ4台目を接続

2. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



3. コネクタ間に隙間がないことを確認し、
 コネクタカバーを時計回り（右回り）に
 回し、しっかりと締める。



4. カメラ用ケーブルと、カメラから出ているコネクタの矢印を合わせて水平に差し込む。



5. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



6. コネクタ間に隙間がないことを確認し、
 コネクタカバーを時計回り（右回り）に
 回し、しっかりと締める。



※しっかりと接続されていない、また、コネクタ部分に圧等（右写真）がかかる取付は、車の振動などで接触不良が起こり、カメラエラーや取得映像にチラつきなどが出る場合がありますのでご注意ください。カメラエラーやチラつきが出た場合は、再度コネクタ部分を外し、再接続を行ってください。

本体⑤ ⇔ 外部モニターなどへの接続方法

1. 本体⑤と、ビデオケーブル（RCA）の
コネクタを水平に差し込む。
※ビデオケーブル（RCA）は
ご用意ください。
2. ビデオケーブル（RCA）の反対側と
外部モニターなどのケーブルコネクタを
水平に差し込む。

**本体⑥ ⇔ インジケータ用ケーブル ⇔ インジケータへの接続方法**

1. 本体⑥と、インジケータ用ケーブル
コネクタの矢印を合わせて水平に
差し込む。
2. それぞれのコネクタを約8～10回ほど
時計回り（右回り）で回し、しっかりと締める。
（隙間がなくなります。）



3. インジケータ用ケーブルと、インジケータの
コネクタの矢印を合わせて水平に差し込む。（手順1写真参照）
4. それぞれのコネクタを約8～10回ほど
時計回り（右回り）で回し、しっかりと締める。
（隙間がなくなります。）
（手順2写真参照）



カメラの取り付け・角度調整

※しっかりと取り付け、きちんと固定されているか確認してください。

カメラが落下することのないように、テープなどで補強してください。

※貼り付け後、車両外側から見て、両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

※貼り付け後、確実に密着するようカメラのステー（台座部分）を十分に押し付けてください。

※撮影したい方向にカメラが向いているか確認してください。

※カメラレンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整してください。

非防水カメラの場合

取り付け時、カメラ2の向きを確認してください。

カメラから出ているケーブルを下向きにした状態が正しい位置となります。



取り付け時、カメラの角度調整をする場合、Aのネジを反時計回り（左回り）で緩めて、調整してください。

角度調整後、Aのネジを時計回り（右回り）でしっかりと締めてください。

※Aのネジは、強く締めすぎないでください。

締める際は、破損しないようご注意ください。

防水カメラの場合



映像を再生した際、映像の上側となる目印があります。
取り付け時、カメラの向きを確認してください。

【IRなしの場合】

レンズ側の白い点が、
映像の上側となります。



正しい位置

【IRあり（赤外線機能付き）の場合】

レンズ側の白い点が、
映像の上側となります。
※上記状態にすると、
赤外線補正センサー
部分（A）が下側に
なります。



正しい位置



映像の上側となる目印の位置を変更したい場合は、
カメラステーのBのネジを緩めて、カメラを動かしてください。
※市販品の六角レンチ（対辺寸法 3 mm）をご用意ください。

カメラの取り付け位置によって、撮影方向にカメラレンズがきちんと
向かない場合は、Bのネジを緩めた後外して、カメラレンズの向きを変える
ことができます。向きの変更後、Bのネジはしっかりと締めてください。



レンズの
向き



ステー短い

ステー長い

レンズの
向き



ステー長い

ステー短い

※出荷時、カメラレンズの向きは
上の写真の仕様となります。

Cのネジで、ステーの角度調整が可能です。

Cのネジで緩めて、調整してください。調整後、Cのネジはしっかりと締めてください。

映像再生時、時計回りに90度回転させて映像を見たい場合のカメラの向き・角度調整

レンズ側の目印（白い点）が映像を再生した際、映像の上側となります。
Bのネジを緩めて、目印（白い点）の位置を、レンズ側から見て、
右に90度回転させ変更してください。
目印（白い点）とカメラホルダーのライン（D部分）が水平であることを
確認後、Bのネジをしっかりと締めてください、

**防水カメラ-IRなし****防水カメラ-IRあり(赤外線機能付き)****外部モニター出力でのカメラの向き・画角確認方法**

外部モニター接続時、SETボタンでのカメラ出力・切り替えが可能です。
(ACC ON時 & 録画中のみ作動) ※この機能は、TV-OUT設定がOFF設定時は機能しません。

【操作手順】

1. SD設定のTV-OUT設定・保存をしてください。
2. 録画中（REC LEDランプ緑色点灯）、
SETボタンを1回押してください。
3. 外部モニターに、TV-OUT設定した映像が出力されます。

※SETボタンを1回押すごとに、外部モニターの画面が切り替わります。例えば、TV-OUT設定をカメラ2に設定した場合、SETボタンを1回押すごとに、カメラ3→カメラ4→カメラ1→カメラ2…と切り替わります。

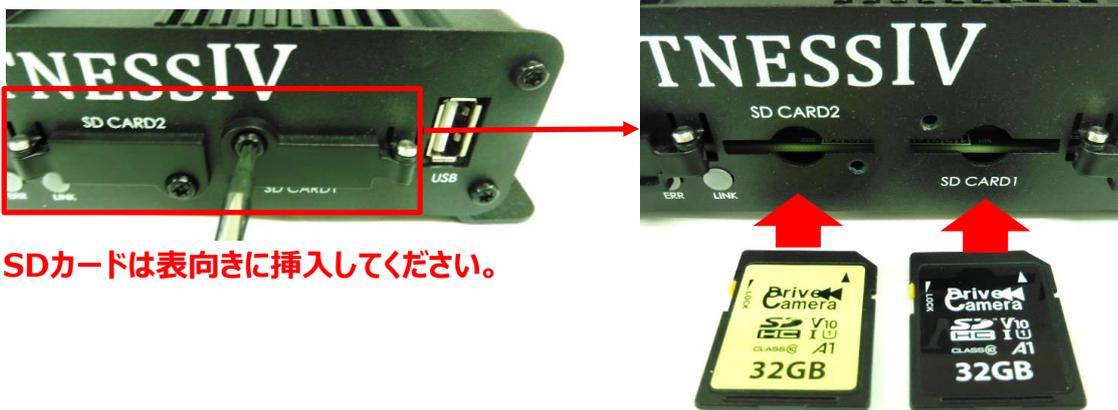
※次のACC OFFまでは、最後の出力が維持されます。ACC OFF→ACC ON後は、SDカードに保存されているTV-OUT設定の出力に戻ります。



**取り付け・配線完了後、機器がきちんと固定されているか、
運転機能が正しく動作するか確認してください。**

④ 専用SDカードを挿入する

セキュリティ対策として、専用SDカードは、簡単に取り出せない仕様（特殊ネジ）となっております。蓋の開閉は、本体特殊ネジ専用ドライバーをお使いください。



SDカードは表向きに挿入してください。

- ◆SD CARD1 : 「専用SDカード1」(黒ラベル) 挿入口
- ◆SD CARD2 : 「専用SDカード2」(黄緑ラベル) 挿入口

挿入方法

- ① ACC（自動車電源）がOFFであることを確認してください。
- ② 専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを反時計回り（左回り）で緩め、蓋を手前に開けてください。
- ③ 専用SDカード1（黒ラベル）をSD CARD 1に、専用SDカード2（黄緑ラベル）をSD CARD 2に、水平に挿入してください。
 ※SDカードの表裏を間違えないようにしてください。
 ※SD設定されている専用SDカードを挿入してください。
 （本体設置位置設定方法については、ビューソフト説明書を参照。）
- ④ 蓋が合わさるように閉め、専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを時計回り（右回り）で、しっかりと締めてください。

取り出し方法

- ① ACC（自動車電源）をOFFにします。
 ※すべてのLEDランプの消灯をご確認ください。
- ② 専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを反時計回り（左回り）で緩め、蓋を手前に開けてください。
- ③ 専用SDカードを軽く押し込み、指を添えて水平に取り出してください。
- ④ 蓋が合わさるように閉め、専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを時計回り（右回り）で、しっかりと締めてください。

WITNESSIVは、専用SDカードの専用フォーマットを行っていないとご使用いただけません。

SDカード挿入時、SDカードが専用フォーマットされていることをご確認ください。

（出荷時に同梱されるSDカードは専用フォーマット済みです。SDカード名称:WT4-SD）

※専用フォーマットがされていないSDカードを本体に挿入すると、起動時、ERR（エラー）ランプが赤色点滅し、正常起動ができませんのでご注意ください。

※SDカードの専用フォーマット方法については、ビューソフト説明書参照。

録画をする前に、SDカードの設定を行ってください。

※SDカードの設定方法については、ビューソフト説明書参照。

専用SDカードのご使用にあたって

※メモリーカードは消耗品です。

ご使用環境によりますが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。

※専用SDカードをご使用の際は、同一本体でのご使用をおすすめします。

※必ず、SDHC・SDXC規格が読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品WITNESSIVは特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューソフトで、SD専用フォーマットを行なってください。

※SD専用フォーマットを行なうと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューソフトの専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ必ず保存（バックアップ）してください。

使用上のご注意

※SDカードを本体に抜き差しする場合、方向に注意して、まっすぐ抜き差ししてください。

上下に曲げないように注意してください。無理にSDカードを取り出すと、SDカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

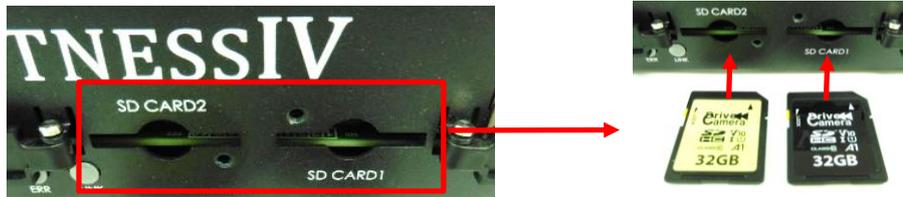
※SDカードの抜き差しは、本体の電源が切れていること（すべてのLEDランプ消灯）を確認して行ってください。動作中にSDカードの抜き差しを行うと、SDカードが破損する恐れがあります。

※SDカードへのデータ書き込み中（LEDランプが点灯中）は、絶対にSDカードを抜かないでください。SDカードが破損するだけでなく、本体が故障する恐れがあります。

※強い衝撃などによりSDカードが物理的破損したり、使用環境により正常録画できない可能性（録画されたデータは正常に再生できないかもしれない）がありますので、定期的にデータの確認とデータの保存をお願いします。

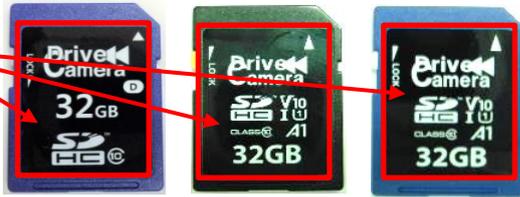
下記エラーのビープ音・音声ガイダンスは、起動時のエラー取得時に、必須（設定不可）で流れます。
 起動中、エラーが起きた（起こした）場合は、その際、1回ビープ音・音声ガイダンスが流れます。
 起動時に確認できないエラー「GPSエラー時」「本体異常時」は、起動後のエラー取得時に、
 1回のみビープ音・音声ガイダンスが流れます。

| 項目 | ビープ音 | 音声ガイダンス |
|--|--------|--|
| GPSエラー時 | ピーピーピー | GPSがエラーです。 |
| ・SDカード未挿入時 ・「LOCK」がかかっている 状態のSDカード挿入時 | ピーピーピー | <SDカード1> SDカード1が入っていません。 <SDカード2> SDカード2が入っていません。 |
| ・専用SDカードでない 市販品SD挿入時 ・専用フォーマットがされて いない専用SDカード挿入時 | ピーピーピー | <SDカード1> SDカード1が使えません。 <SDカード2> SDカード2が使えません。 |
| 破損したSDカード挿入時 | ピーピーピー | <SDカード1> SDカード1がエラーです。 <SDカード2> SDカード2がエラーです。 |
| 挿入するSDカードスロットが 間違っている場合 SDカード2をSDカード1スロット挿入 SDカード1をSDカード2スロット挿入 | ピーピーピー | <SDカード1> SDカード1が間違っています。 <SDカード2> SDカード2が間違っています。 |
| カメラ1エラー時 | ピーピーピー | カメラ1がエラーです。 |
| カメラ2エラー時 | ピーピーピー | カメラ2がエラーです。 |
| カメラ3エラー時 | ピーピーピー | カメラ3がエラーです。 |
| カメラ4エラー時 | ピーピーピー | カメラ4がエラーです。 |
| 本体異常時 (Gセンサーエラー含む) | ピーピーピー | 本体がエラーです。 |



SDカードのラベル（シール）の色をご確認後、スロットに挿入してください。

黒ラベル



スロット
SD CARD 1 に挿入

黄緑ラベル



スロット
SD CARD 2 に挿入

SDカードが間違っている場合のビープ音・音声ガイダンス／LED一覧

| | | |
|--|--------------------------|---|
| <p>OK SDカード1を スロットSD CARD1</p> <p>NG SDカード1を スロットSD CARD2に挿入</p> | <p>ビープ音・ 音声ガイダンス</p> | <p>ピーピーピー SDカード2が間違っています。</p> <p>本体</p>  <p>インジケータ ※GPSは受信まで 青色点滅</p>  |
| <p>NG SDカード2を スロットSD CARD1</p> <p>OK SDカード2を スロットSD CARD2に挿入</p> | <p>ビープ音・ 音声ガイダンス</p> | <p>ピーピーピー SDカード1が間違っています。</p> <p>本体</p>  <p>インジケータ ※GPSは受信まで 青色点滅</p>  |
| <p>NG SDカード1を スロットSD CARD2</p> <p>NG SDカード2を スロットSD CARD1に挿入</p> | <p>ビープ音・ 音声ガイダンス</p> | <p>ピーピーピー SDカード1が間違っています。 SDカード2が間違っています。</p> <p>本体</p>  <p>インジケータ ※GPSは受信まで 青色点滅</p>  |

※LEDは、接続しているカメラ台数に関わらず同じ表示となります。

⑤ 本体設置位置の校正（手動校正）をする

WITNESSIV取付完了後、車両が水平な場所で、
必ず本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

※本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

本体設置位置の校正（手動校正）とは、本体の角度が縦向きなどに設置されている場合、その状態を垂直として認識校正する機能です。

この校正を行わないと、トリガーが頻繁にかかってしまいます。

※水平な場所に車体を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、本体設置位置の校正が正しく行われません。

※本体設置位置に対して、40°以内までは取り付け・本体設置位置の校正（手動校正）が可能です。

※本体設置位置の設定が保存されている専用SDカードを挿入してください。

（本体設置位置設定方法については、ビューワソフト説明書参照。）

本体設置位置の校正（手動校正）方法

本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

車両を水平な場所に止めてください。

①専用ビューワソフトで、専用SDカードに本体設置位置の設定・保存をする。

②車両を水平な場所に止めてください。

必ず車のエンジンを切って、車のキーを抜いた状態で行ってください。

③SDカードを本体に挿入してください。

④WITNESSIV本体が、①で設定・保存した設置位置と同じ位置か確認してください。

※異なる場合は、専用SDカードの本体設置位置の設定・保存をし直してください。

⑤ACC ONにしてください。

※エンジンONではありません。エンジンはかけないようにお願いいたします。

（エンジンONの場合は、車の振動が影響するため）

⑥ ■ [録画開始のビーブ音・音声ガイダンス設定ONの場合]

「ピンポーン 録画を開始します。」と流れます。

音声ガイダンス確認後、SETボタンをビーブ音が流れるまで押してください。

■ [録画開始のビーブ音・音声ガイダンス設定OFFの場合]

本体RECランプの緑色点灯確認後、SETボタンをビーブ音が流れるまで押してください。

⑦ビーブ音が鳴りましたら、SETボタンを押すのを止めてください。

⑧これで校正完了となります。ACC OFFにしてください。



本体設置位置の校正（手動校正）は1回のみで十分ですが、本体の設置位置を変更する場合は、必ず再度、本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

起動（録画開始）

本体の電源が切れている状態（すべてのLEDランプが消灯）で、専用SDカードが挿入されていることを確認後、電源を入れてください。（ACC ON）。

ACC ONから約15秒後に、RECランプが緑色点灯に変わり、自動的に常時録画が始まります。

LED表示

| | 正常時 | 異常時 |
|-------------------------------|--|---|
| CAM1ランプ | 緑色点灯 | 1カメラ設定でタグ1に未接続、カメラ1異常の場合→赤色点灯 ※1 |
| CAM2ランプ | 緑色点灯 | 2カメラ設定でタグ2に未接続、カメラ2異常の場合→赤色点灯 |
| CAM 3/4ランプ | 緑色点灯 | 3カメラ設定でタグ3に未接続、カメラ3異常の場合→赤色点滅 |
| | | 4カメラ設定でタグ4に未接続、カメラ4異常の場合→赤色高速点滅 |
| | | 3カメラ、4カメラ設定で同時に未接続、カメラ3,4異常の場合→赤色点灯 |
| RECランプ | 正常起動・録画開始→緑色点灯 | - |
| ERRランプ | 消灯 | 赤色点滅 ※インジケータユニット未接続、カメラ未接続の場合。 ※専用SDカードでない、専用フォーマットされていない、SDカード破損の場合。 |
| LINKランプ (Wi-Fiモード1 設定時) | SD設定Wi-Fi OFF、あるいは、SD設定Wi-Fi ONでWi-Fiドングル接続なし →消灯（無灯） | - |
| | SD設定Wi-Fi ON & WITNESSIVが通信していない →2秒緑色点滅・2秒消灯の繰り返し | |
| | WITNESSIVは通信しているが、WEBサービスに繋がっていない→緑色点滅 | |
| | WITNESSIVは通信していて、WEBサービスにも繋がっている→緑色点灯 | |

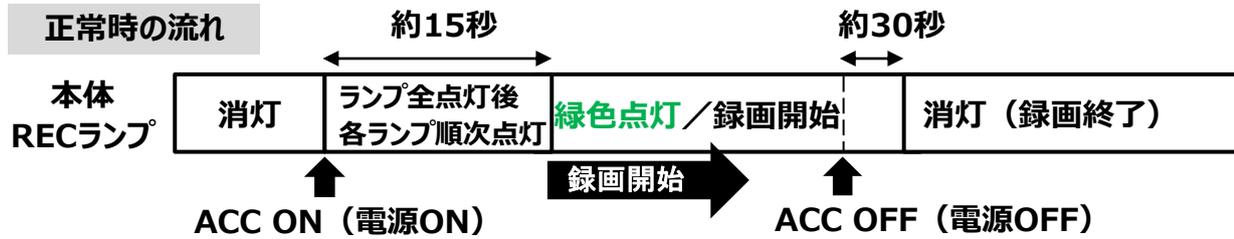
※1 1カメラ設定 & 1カメラ接続での正常時、仕様上、CAM1ランプは緑色点灯・CAM2ランプは赤色点灯となります。

※ACC ON後、GPS受信まで、約30秒以上かかりますが、GPS受信がしにくい場所（ビルの谷間など）では、30分以上かかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界が良好な場所に移動してください。

終了（録画停止）

電源遮断（ACC OFF）から約30秒後にシャットダウンされます。（※2）本体が完全にシャットダウンされる（すべてのLEDランプが消灯）まで、専用SDカードを絶対に抜かないでください。

（※2）4G通信時、電源遮断（ACC OFF）後すぐにシャットダウンされません。4G通信完了後、シャットダウンされます。4G通信NGの場合、ACC OFF後約2～3分で強制的にシャットダウンします。



※ACC OFF後、Wi-Fi通信NGの場合、ACC OFF後約2～3分で強制的にシャットダウンします。

使用上のご注意

- ※SDカードの抜き差しは、本体の電源が切れていること(すべてのLEDランプの消灯)を確認して行ってください。動作中にSDカードの抜き差しを行うと、SDカードが破損する恐れがあります。
- ※SDカードへのデータ書き込み中（RECランプが点灯・点滅中）は、絶対にSDカードを抜かないでください。SDカードが破損するだけでなく、本体が故障する恐れがあります。

インジケータユニット

インジケータユニットで、WITNESSIVの動作状況を確認することができます。
マイク搭載で、周囲の音声を録音します。

LED表示

| | ACC ON正常時 | ACC ON異常時 |
|--------|--|--|
| PWRランプ | 本体電源ON(ACC-ON)後→ 緑色点灯 | 本体が起動していない場合→ 消灯 ※本体のLED表示をご確認ください。 |
| GPSランプ | GPS受信前→ 青色点滅 GPS受信後→ 青色点灯 GPS圏外になった場合→ 青色点滅 | - |
| RECランプ | 正常起動・録画開始→ 緑色点灯 | - |
| ERRランプ | 消灯 | 本体で異常などが発生している場合→ 赤色点滅 ※本体のLED表示をご確認ください。 |

映像ファイルの記録内容・録画時間

録画

5分前後／1ファイル(ただし、シャットダウン時は短くなります。)

車体のACC ON/OFFに応じて、自動的に常時録画・録音を開始・終了します。

設定の画質(Full HD/HD/WVGA)、フレーム(30fps/15fps)、画質(A・B・C)で記録を行います。(SDカード1)

専用SDカードへの記録内容

映像、音声(設定により音声オフ(無)も可能)、日付と時間、GPSデータ(GPS受信可能時)、外部信号(外部信号入力時)、Gトリガー(設定時)、Gセンサーデータ、パルス車速、ウinker信号、ブレーキ信号、バック信号、アイドリング時間 等

録画時間 (32GB・1カメラ時) 単位：時間

| SDカード1 Full HD | | | SDカード1 HD | | | SDカード1 WVGA | | |
|----------------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps |
| 画質 | | | 画質 | | | 画質 | | |
| A | 5.22 | 10.41 | A | 7.82 | 15.55 | A | 20.65 | 40.68 |
| B | 7.82 | 15.55 | B | 10.41 | 20.65 | B | 30.74 | 60.11 |
| C | 10.41 | 20.65 | C | 15.55 | 30.74 | C | 40.68 | 78.97 |

| SDカード2 QWVGA | |
|--------------|--------|
| 画質A (15fps) | 164.82 |
| 画質B (10fps) | 247.22 |

録画時間 (32GB・2カメラ時) 単位：時間

| SDカード1 Full HD | | | SDカード1 HD | | | SDカード1 WVGA | | |
|----------------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps |
| 画質 | | | 画質 | | | 画質 | | |
| A | 2.62 | 5.22 | A | 3.92 | 7.82 | A | 10.41 | 20.65 |
| B | 3.92 | 7.82 | B | 5.22 | 10.41 | B | 15.55 | 30.74 |
| C | 5.22 | 10.41 | C | 7.82 | 15.55 | C | 20.65 | 40.68 |

| SDカード2 QWVGA | |
|--------------|--------|
| 画質A (15fps) | 113.02 |
| 画質B (10fps) | 208.19 |

録画時間 (32GB・3カメラ時) 単位：時間

| SDカード1 Full HD | | | SDカード1 HD | | | SDカード1 WVGA | | |
|----------------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps |
| 画質 | | | 画質 | | | 画質 | | |
| A | 1.75 | 3.49 | A | 2.62 | 5.22 | A | 6.96 | 13.84 |
| B | 2.62 | 5.22 | B | 3.49 | 6.96 | B | 10.41 | 20.65 |
| C | 3.49 | 6.96 | C | 5.22 | 10.41 | C | 13.84 | 27.40 |

| SDカード2 QWVGA | |
|--------------|--------|
| 画質A (15fps) | 77.56 |
| 画質B (10fps) | 146.50 |

映像ファイルの記録内容・録画時間

録画時間 (32GB・4カメラ時)

単位：時間

| SDカード1 Full HD | | | SDカード1 HD | | | SDカード1 WVGA | | |
|----------------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps | | 30fps | 15fps |
| 画質 | | | 画質 | | | 画質 | | |
| A | 1.31 | 2.62 | A | 1.96 | 3.92 | A | 5.22 | 10.41 |
| B | 1.96 | 3.92 | B | 2.62 | 5.22 | B | 7.82 | 15.55 |
| C | 2.62 | 5.22 | C | 3.92 | 7.82 | C | 10.41 | 20.65 |

| SDカード2 QWVGA | |
|--------------|--------|
| 画質A (15fps) | 59.04 |
| 画質B (10fps) | 113.02 |

※音声録音オフ設定、カメラが同じ設定時の最大録画時間となります。

※SDカード1の解像度 (Full HD・HD・WVGA) ・画質 (A・B・C) は、カメラごとに個別設定できます。
フレームレート (fps) 共通。

※64GB専用SDカードをご使用时、目安の時間は上記の約2倍となります。

※128GB専用SDカードをご使用时、目安の時間は上記の約4倍となります。

※256GB専用SDカードをご使用时、目安の時間は上記の約8倍となります。

※上記の録画時間は、理論上の計算値で保証値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により変動します。

使用上のご注意

※SDカードへの保存は、容量がいっぱいになると、一番古いファイルから上書き保存していきいます。
映像ファイルは順次、消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ保存 (バックアップ) してください。

※SDカードにドライブレコーダーで記録されているデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されていないことがあります。

製品仕様

| 本体 | |
|-----------|---|
| 電源 | DC8V～60V |
| 消費電流 | 約600mA /12V (本体のみ) |
| 動作温度範囲 | -25℃ ～ +70℃ |
| 保存温度範囲 | -40℃ ～ +85℃ |
| 動作湿度範囲 | 20%～80% |
| 保存湿度範囲 | 10%～90% |
| 外形寸法 | 約155mm×約172mm×約45mm |
| 重量 | 約780g |
| 記録メディア | 専用SDカード (防水IPX7 / -25°～+85°対応) |
| 画像解像度 | Full HD(1920×1080)・HD(1280×768)、 WVGA(720×480)、QWVGA(320×240) |
| 画像フレームレート | SDカード1 Full HD/HD/WVGA録画 30fps・15fps/秒 SDカード2 QWVGA録画 15fps・10fps/秒 通信 10fps/秒 |
| 映像記録方式 | 専用記録方式(専用ビューソフト必要) |
| 音声記録方式 | 専用記録方式(専用ビューソフト必要) |
| 記録データ | 映像、音声、日付と時間、GPSデータ、外部信号、 Gトリガー、Gセンサーデータ、パルス車速、ウインカー信号、 ブレーキ信号、バック信号、アイドリング時間 等 |
| バックアップ | B+遮断後3秒記録し通常終了 ※Wi-Fi通信時、Wi-Fi通信完了後 (ACC OFF後 約2～3分後) にシャットダウンされます。 (スーパーキャパシター内蔵) |
| Gセンサー | Gセンサー内蔵 |
| Gトリガー | 車種と感度から設定 |
| 日時指定 | GPSにて、起動時に自動校正 GPS受信圏外でのみご使用の場合は、専用ビューソフトにて日時をSDカードに設定(手動設定) |
| 接続(入力) | 電源(B+、ACC、アース)、インジケータユニット、 カメラ (1・2・3・4)、デジタルI/O、TV-OUT |
| 付属品 | 本体用電源ケーブル 車速/各種信号ケーブル (I/O1)、 本体用両面テープ、本体固定用ネジ |

非防水カメラ-IRなし

| | |
|---------|---|
| 電源 | DC5V |
| 消費電流 | 約220mA/5V |
| 動作温度範囲 | -30℃ ～ +85℃ |
| 保存温度範囲 | -40℃ ～ +95℃ |
| 動作湿度範囲 | 20%～80% |
| 保存湿度範囲 | 10%～90% |
| 外形寸法 | 約42mm×約49mm×約24mm (ステイ・突起部除く) |
| 重量 | 約78 g (ステイ含む) |
| ケーブルの長さ | 1.5m、3.5m、5m、10m (カメラケーブル脱着式) ケーブル同士の接続 (ジョイント) 可能。ケーブルの延長は、 各ケーブル組み合わせで最大3本まで (10m×3本 = 最大30m) |
| 撮影素子 | 200万画素HDR CMOSセンサー |
| レンズ画角 | 水平132°/ 垂直80° |
| 付属品 | カメラ用両面テープ |



製品仕様

非防水カメラ-IRあり (赤外線機能付き)

※赤外線発光時、モノクロ映像となります。

| | |
|---------|----------------------------------|
| 電源 | DC5V |
| 消費電流 | 約220mA/5V (赤外線起動後、約270mA±10%) |
| 動作温度範囲 | -30℃ ~ +85℃ |
| 保存温度範囲 | -40℃ ~ +95℃ |
| 動作湿度範囲 | 20%~80% |
| 保存湿度範囲 | 10%~90% |
| 外形寸法 | 約42mm×約49mm×約24mm (ステイ・突起部除く) |
| 重量 | 約74 g (ステイ含む) |
| ケーブルの長さ | 1.5m、3.5m、5m、10m (カメラケーブル脱着式) ※1 |
| 撮影素子 | 200万画素HDR CMOSセンサー |
| レンズ画角 | 水平140°/ 垂直82° |
| 付属品 | カメラ用両面テープ |



防水カメラ-IRなし

| | |
|---------|----------------------------------|
| 電源 | DC5V |
| 消費電流 | 約300mA/5V |
| 動作温度範囲 | -25℃ ~ +70℃ |
| 保存温度範囲 | -40℃ ~ +85℃ |
| 動作湿度範囲 | 20%~80% |
| 保存湿度範囲 | 10%~90% |
| 外形寸法 | 約53mm×約43mm (治具付き高さ約60mm) |
| 重量 | 約74 g (ステイ含む) |
| ケーブルの長さ | 1.5m、3.5m、5m、10m (カメラケーブル脱着式) ※1 |
| 撮影素子 | 200万画素 CMOSセンサー |
| レンズ画角 | 水平140°/ 垂直100° |
| 付属品 | カメラ用両面テープ×2枚 ※1枚は予備となります。 |



防水カメラ-IRあり (赤外線機能付き)

※赤外線発光時、モノクロ映像となります。

| | |
|---------|----------------------------------|
| 電源 | DC5V |
| 消費電流 | 約350mA/5V (赤外線起動後、約350mA±10%) |
| 動作温度範囲 | -25℃ ~ +70℃ |
| 保存温度範囲 | -40℃ ~ +85℃ |
| 動作湿度範囲 | 20%~80% |
| 保存湿度範囲 | 10%~90% |
| 外形寸法 | 約55mm×約50mm (治具付き高さ約68mm) |
| 重量 | 約95 g (ステイ含む) |
| ケーブルの長さ | 1.5m、3.5m、5m、10m (カメラケーブル脱着式) ※1 |
| 撮影素子 | 200万画素 CMOSセンサー |
| レンズ画角 | 水平140°/ 垂直100° |
| 付属品 | カメラ用両面テープ×2枚 ※1枚は予備となります。 |



※1 ケーブル同士の接続 (ジョイント) 可能。

ケーブルの延長は、各ケーブル組み合わせで最大3本まで (10m×3本 = 最大30m)

インジケータユニット

(本体個装箱に同梱)

| | |
|--------|---------------------|
| 電源 | DC5V |
| 消費電流 | 約100mA /5V |
| 動作温度範囲 | -25℃ ~ +70℃ |
| 保存温度範囲 | -40℃ ~ +85℃ |
| 動作湿度範囲 | 20%~80% |
| 保存湿度範囲 | 10%~90% |
| 外形寸法 | 縦52mm×横49mm×高さ約24mm |
| 重量 | 約50 g |
| GPS | GPSモジュール内蔵 |
| マイク | マイク内蔵 |
| 付属品 | インジケータ用電源ケーブル・両面テープ |

アフターサービスについて

1. 本製品には保証書を添付しております。
保証書には、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの必要事項の記入の有無、および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
3. 修理ご依頼の際は、下記の点にご注意ください。
 - ◆修理の受付は、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
 - ◆保証書に記載しております保証規定に基づいて、無料で修理いたします。※修理、点検に要する商品の車両からの脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望により、有償で修理をお引き受けいたします。
お求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っていません。

製品保証書

保証契約約款

この度はドライブレコーダー「WITNESSIV」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この保証書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げ日から下記保証期間中に、取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、記載内容に基づきお買い上げの販売店に、商品をご持参の上ご依頼ください。

保証規定 1

1. 保証期間中でもこのような場合には有償修理となります。
 - a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損
 - b お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、輸送などによる故障または破損
 - c 火災、地震、水害などの天災または公害、煙害、指定外の電源使用その他の外的要因による故障や破損
 - d 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用したときの故障、または破損
 - e 取付機器との組み合わせや互換性による原因で発生した症状
 - f 故障の原因が本製品以外にある場合
 - g 本書の提示がない場合
 - h 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは記載事項を書きかえられた場合
 - i 消耗品の交換、仕様変更など
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付されたときの送料や出張修理を行ったときの出張料はお客様のご負担となります。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効となります。
4. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定 2

WITNESSIVは、常時録画・録音で映像と音声を記録する装置ですが、すべての状況において映像と音声を記録することを保証するものではありません。
何らかの要因で映像や音声記録されなかった場合、または記録された映像や音声データが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切責任を負いません。

◆WITNESSIV保証書

| 製品名 | WITNESSIV | |
|--------------------------|-----------------------------|--|
| 製品シリアル番号 | 本体 (インジケーター) | |
| | 非防水カメラ IRなし | |
| | 非防水カメラ IRあり (赤外線機能付き) | |
| | 防水カメラ IRなし | |
| | 防水カメラ IRあり (赤外線機能付き) | |
| 保証期間 (西暦) | 年 月 日から 1 年間 | |
| お客様情報 (ご住所・お電話番号・社名) | | |
| 販売店様情報 (ご住所・お電話番号・社名) | | |

この度は、ドライブレコーダー「WITNESSIV」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
 本保証書記載の条件に従い、上記商品に対する保証サービスをご提供申し上げます。
 ※各項目に記入の無い保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、記入漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にご連絡ください。
 ※本保証書は、保証期間中に大切に保存していただき、保証サービスをご請求の際にご提示ください。
 ※本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 ※修理などにつきましては、詳しくはお買い上げの販売店までお問い合わせください。

商品についてのお問い合わせは
 お買い求めの販売店までお問い合わせください。

〒104-0032
 東京都中央区八丁堀2-29-11 三雄舎ビル4F
 株式会社ドライブ・カメラ